

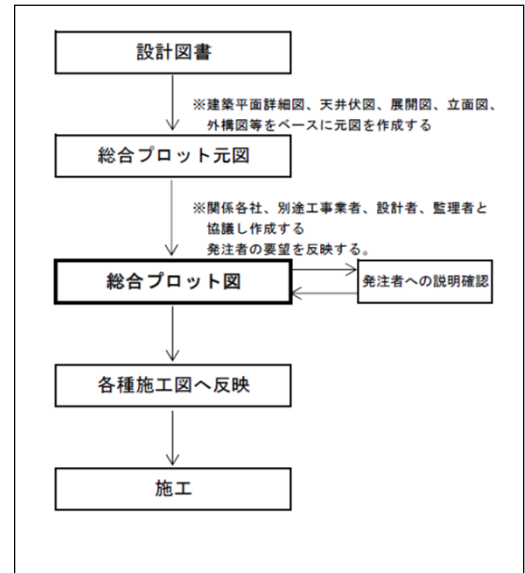
施工段階		着工時		1	設備工事： 総合プロット図の作成	シート番号 1-6			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	—						

「総合プロット図」とは意匠、構造、設備の設計情報を一つの図面に一元化する事で、納まりや使い勝手、発注者の要望をトータル的に確認し、工事や施工図の手戻りを無くす等、品質確保を目的に工事初期段階に作成・調整する図面を示します。

ポイント

- ・発注者、設計者、監理者、施工者が建築、設備その他関連する工事の概要と相互関係を把握し、工事の内容を共有する為に作成します。
 - ・作成した総合プロット図を基に検討課題の抽出及びその解決を行います。
 - ・発注者に総合プロット図の説明を行い、発注者の要望を反映します。
 - ・別途工事の情報も総合プロット図に反映します。
 - ・原則、仕上面に表れる機器類を表記しますが、隠蔽部の機器、ダクトによって制約を受けるものもあるため隠蔽部の調整も同時に必要となります。
- 又、メンテナンススペースにも配慮が必要です。
- ・確定した総合プロット図を元に各種施工図を作成します。
 - ・総合プロット図作成の遅れは工事工程の遅れに繋がり、施工中の変更はコスト増に繋がります。

■総合プロット図作成フロー



先輩アドバイス

- ・「発注者が満足する建物をつくる」という事を常に念頭に置き作成する事が大切です。
- ・工事の初期段階で設計者と密に打合せを行う事で設計内容への理解も深まります。
- ・将来の間仕切りや備品類の配置にも留意して総合プロット図を作成します。
- ・建物の用途や規模により展開総合プロット図も作成します。
- ・別途工事の情報も忘れず記載しなければなりません。

チェック項目

- 人の動線、建具位置、設備機器、その他建物の使い勝手に問題は無いですか。
- 備品（家具等）の配置は考慮しましたか。又、将来の間仕切壁等の設置は無いですか。
- 別途工事の内容を図面に反映しましたか。
- 機器配置上、法的な問題は無いですか。
- 隠蔽部に設置される機器やダクト等による影響は無いですか。

失敗すると...

- ・工事や施工図に手戻りが発生し、工程遅延や品質確保に問題が生じると共にコスト増にも繋がります。

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	-	○	○	○	-	-	-	○	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		